

第3次地域福祉活動計画～概要版～

■ ■ ■ 平成26年度～平成30年度 ■ ■ ■



～千種区民のみなさまへ～

この計画の実現には、住民のみなさまの力が必要です。「誰もが安心して生活できる千種区」に向けて、ぜひ一緒に活動しましょう！

詳細をお知りになりたい方は、活動計画の本冊子を千種区社会福祉協議会の窓口でお渡ししていますので、ぜひお声かけください。

また、本会のホームページ (<http://www.chikusa-shakyo.jp>) でもご覧いただけます。

千種区社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画～概要版～

平成26年6月発行

発行：社会福祉法人名古屋市千種区社会福祉協議会

〒464-0825 名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

TEL 052-763-1531 FAX 052-763-1547

<http://www.chikusa-shakyo.jp/>

※この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

現在の地域社会においては、地域を取り巻く社会情勢が大きく変化し、様々な福祉課題が発生しています。そこで、誰もが地域で安心して生活できるようにするために、地域福祉活動に熱意のある住民のみなさまにもご参加いただき、平成26年度から平成30年度の5年間を実施期間とした「第3次地域福祉活動計画」を策定しました。

策定にあたっては、第2次計画の基本理念「つながる・ひろがる・かよいあう」を継承しました。そして、第2次計画の評価や現在の地域課題等の絞り込みを意識し、様々な意見を出し合ったところ、具体的な活動に向けて4つの柱が見えてきました。この4つの柱から導き出された実施項目を着実に推進していくことで、基本理念の実現を目指します。

つながる・ひろがる・かよいあう

～誰もが安心して生活できる千種区のために～

実施項目①

地域の個別支援ネットワークをつくろう

みなさんがお住まいの地域には、ひとり暮らしの高齢者等、日常生活を営む上でゴミ出しや電球交換ができないといった、小さな困りごとがある方がいます。そうした方々も、時には助け、時には助けられることにより、地域で安心して暮らし続けていくことができます。こうした日頃からのつながりや見守りは、災害時の助け合いにも有効だと考えられます。

そこで、このような個別支援のための仕組み(ネットワーク)づくりを、地域を選定してモデル的に行います。その際は、その地域で地域福祉活動を推進している地域福祉推進協議会と連携し、地域の実情に合った取り組みを展開していきます。また、必要なボランティアの確保・支援にも努めます。

地域福祉推進協議会(推進協)

住民の誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを、住民が主体となって地域ぐるみで推進することを目的として組織された団体。小学校区単位で設置されている。

実施項目②

「役に立った」と言われる情報発信をしよう

社協では、広報紙やホームページを使って、区民のみなさんに福祉情報を提供しています。しかし、このような広報活動はまだ不十分であり、区民のみなさんが必要としている福祉情報をタイムリーに、かつ分かりやすく提供する必要があると考えます。

そこで、みなさんがどのようなことに関心があるのかを調査する等して、「この情報はありがたい!」「こういう情報が欲しかった!」と言っていたような情報発信を行います。

実施項目③

福祉活動に出会う場や機会をつくろう

「福祉に関する活動をしたいけど、どのように取り組んでよいのか分からない」「誰か活動の相談に乗ってもらえないかな…」「一緒に活動してくれるところがあったら…」区内には、このような方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、地域のみなさんが、福祉活動を行っているボランティア団体、NPO、企業等と出会うきっかけをつくる取り組みを実施して、多くのみなさんの活動への参加を図り、福祉の輪を広げます。

実施項目④

団体同士の連携(協働)に向けた提案をしよう

区内には、高齢者、障がい者、子育て等の分野で活動しているボランティア団体、NPO等があり、それらの団体が何かに取り組む際、団体同士が協働することにより、その活動の幅が広がり、深みのある内容となり、大きな成果が期待できます。

そこで、それぞれの分野で活動しているボランティア団体、NPO等が協力して新しい取り組みができるよう提案したり、時には社協や行政機関も一緒に取り組む等、連携(協働)に向けた提案を積極的に行います。

実施項目⑤

社協についてもっと知ってもらおう

みなさんは、社会福祉協議会(社協)という団体についてご存知でしょうか?

社協では、ボランティア、子育て等のさまざまな福祉情報を収集し、区民のみなさんに、その情報を提供したり、「誰もが安心して生活できるまちづくり」を目指して、地域の福祉向上と発展のための活動に取り組んでいます。しかしながら、まだまだ、その組織や活動内容は浸透していないように思われます。

そこで、例えば、既存の広報紙やホームページをもっと身近に感じていただけるよう工夫する等して、みなさんに社協についてもっと知っていただけるような取り組みを進めます。

4つの柱

住民主体の
ネットワークづくり

担い手(人材)の
確保・養成

関係機関・団体との
連携(協働)

広報・啓発活動